

# ふっくら炊き立てごはんを「いただきます」

12/9

## ふれあい農園『収穫祭』

12月9日(土)、幌別小学校で『収穫祭』(登別市学校支援地域本部実行委員会、登別市幌別中学校区地域教育協議会主催)が行われ、幌別中学校区の幌別小学校、幌別東小学校、幌別中学校の児童や生徒などが食べ物に対する感謝の気持ちを再認識するとともに収穫した喜びを分かち合いました。幌別中学校区の地域では、特色ある教育活動の一環として、平成4年から毎年、ふれあい農園(千歳町)で、田植えから稲刈りまでの稲作を体験する自然体験活動を実施しています。

今回、幌別中学校区の子どもたちに、収穫したお米をおいしく食べてもらおうと、収穫祭と銘打って、収穫したお米を用いた牛丼が振る舞われたほか、ゲームを通じて交流を深め合い、楽しいひとときを過ごしました。

また、収穫したお米の一部は、登別市社会福祉協議会に寄贈され、地域福祉の推進にも役立てています。



▲炊き立ての温かいごはんを受け取る児童(12月)



▲はだしで田んぼに入っ  
て、一つ一つ丁寧に稲  
の苗を植えた『田植え』  
(5月)



▲たわわに実った黄金色  
の稲穂を一齐に刈り取  
った『稲刈り』(10月)

## 現地での経験を紹介

### 第5回国際理解講座

11月28日(火)、市民会館で『第5回国際理解講座』(市主催)を開催しました。

講師には、ブラジル連邦共和国マナウス市の日本人学校で3年間、校長を務めた経験をもつ、登別小学校校長の片倉徳生(かたくのりお)さんを招き、現地での経験をともに講話を行いました。

「赤道に近いマナウス市は、3月と9月に太陽が真上を通るため、人の影が真下にできる現象が起こる。授業では子どもたちに肌で感じるかを考えてもらった」と片倉さんは授業内容を紹介し、参加者は関心を寄せていました。

11/28



▲設立30周年に向けた役員体制などを決議した『東京登別げんきかい』の総会

## ふるさと登別への 応援活動を決議

11/18

第29回東京登別げんきかい情報交換会・総会・懇親会  
11月18日(土)、ビヤステーション恵比寿で、『第29回東京登別げんきかい情報交換会・総会・懇親会』(同会主催)が開催され、会員や関係者など92人が出席しました。

首都圏在住の登別出身者や登別にゆかりのある方などで組織している同会は、平成元年に設立し、平成30年に30周年を迎えます。

総会では、30周年記念事業として行う登別へのふるさとツアーといった今後1年間の事業計画や任期を満了した役員の変更などを決議。ふるさと登別の応援団として、30周年に向けて気持ちを新たにしていきました。



▲ブラジル連邦共和国での生活やマナウス日本人学校での経験について語る片倉さん(左)